

お知らせ

☆こども図書館は土日も**午後のみ開館**します。

☆問い合わせ先

西粟倉村教育委員会 あわくら会館図書係まで

TEL 0868-79-2216

e-mail:n-kyouiku@vill.nishiwakura.okayama.jp

今月のテーマ

いつまでも吹く冷たい風が桜の花を吹き飛ばし、気がつけば山々は新緑に染まってきました。

さて、桜の季節は短かったですが、西粟倉の緑の季節はこれからが本番です。と言うわけで、今月は「緑のえほん」をテーマに特集してみました。

緑色には心を落ち着かせる効果がありますよね！リラックスを誘い、肩こりにも効果があるとか。忙しい日常でつい見過ごしていますが、改めて緑の良さを実感してみませんか？

『みどりのほん』 作：五味太郎 文化出版社

『みどりののはらであそぼうよ』

文：マティン・ワッデル 評論社



『ミドリがひろったふしぎなかさ』

文：岡野薫子 童心社

《今月の一押し》

『戦艦「大和」永遠なれ！』

原 勝洋：編・著 KKベストセラーズ



戦艦「大和」の真実と、全船の戦力がここに集結！

昨年12月に刊行されて、ようやく図書館に入ってきました。米国・日本撮影の実写・写真136点、オリジナル資料（艦装図、設計図、工事記録等）49点を総結集。なまなましい戦闘シーンが克明に写されており、ドラマでも映画でもない現実感に圧倒されます。しかもその1隻1隻には何百何千の人たちが乗っており、命をかけて戦っていたと言いしれない恐ろしさを感じます。戦後60年。戦争の記憶は徐々に薄れ憲法改正論もちらほら出たりしていますが、改めて平和について考えてみるきっかけにもなると思います。

図書館へ行こう！

4月の新着本

児童書

◎ かえるくんはかなしい

作：マックス・ベルジュイヌ セーラ出版

理由もなく、悲しい気持ちにせずんできましたかえるくん。まわりの友達はみな楽しくなれるよう心を配りますが、かえるくんの気持ちは悲しいまま。いつもよい知恵をもっているねずみくんは、美しい曲をヴァイオリンで弾きました。すると…。昨年亡くなった著者の、最後は幸せな気持ちになれる“かえるくんシリーズ”の、最後の一冊です。



◎ 雪窓

作：安房直子 偕成社

「三角のぶるぶるとしたやつください。」雪のふる寒い寒い晩、屋台にきた厚いコートのお客はいいました。

「三角のぶるぶる」って？山のおふもとのおでんの屋台「雪窓」には、ときたまふしぎなお客がくるそうです。

今夜も提灯がとまり、店がひらくとちょっとばかり風がわりなお客がやってきたようです。

◎ はじめてのようちえん

～ふたこのひよちゃんびよちゃん～

作：バリー・ゴッパフォ 徳間書店

ふたこのひよちゃんとびよちゃんが初めて幼稚園にいきました。ところが、なかなかお友達ができません。しょんぼりしてしまったひよちゃんとびよちゃん。だけど…？過ぎてみればなんでもないことも、最初は不安でたまらないもの。特別な一日をむかえた、小さな子どもたちの気持ちを暖かく、こまやかにえがいた絵本です。



◎ ねどこどこかな？

作：ジューディ・ヒルデブランド 小学館

あくびがでたりこっくりしたり、おひるねうたたねどこがいちばんおきにいい？だれでもみんなおきにいいのねむるところがあるよね。ねんねの前に読んであげたいおやすみ絵本。「どこでねんねする？」居心地の良い眠る場所を探して、いろいろ想像して楽しめます。すてきな夢が見れそうな、ほんわかした気持ちになる一冊です。

一般書

◎ ガール

著：奥田英朗 講談社

さ、いっちょ真面目に働きますか。キュートで強い、肚の据わったキャリアガールたちの働きっぷりをご覧ください。

課長さんの日常を描いた『マドンナ』から三年、三十代女性を主人公にした爽快オフィス小説が誕生。つまずきながらも前向きにはたらく、キャリアガールのドラマ。



◎ お腹召しませ

著：浅田次郎 中央公論新社

昔のおさむれえってのは、それほど潔いもんじゃあなかった——二百六十余年の太平の後に、武士の本義が薄れた幕末から維新へ。惑いながらもおのれを貫いた男たちの物語。名手が描く全六篇。